

令和元年12月8日 於：日本医師会館  
日本医師会女性医師支援センター・日本医学会連合共催  
令和元年度女性医師支援担当者連絡会  
4. 各団体の取り組みから



# 日本腎臓学会の取り組み



日本腎臓学会幹事長

学会あり方委員会、男女共同参画委員会



東北大学医学系研究科腎・高血圧・内分泌学

宮崎 真理子

# 日本腎臓学会の男女共同参画活動のあゆみ

2004	男女共同参画基本法施行(1999)	2000年	日本女性腎臓医の会
	新臨床研修制度スタート(2004)	2004年	女性幹事
2005	日本医師会女性会員懇談会(2004)		
2006	日本腎臓学会 男女共同参画委員会設立(2006)		
2007	日本医師会女性医師バンク(2007)		
2008			
2009	CKD診療ガイド2009		
2010	CKD診療ガイドライン2009		
2011			
2012	CKD診療ガイド2012		
2013	CKD診療ガイドライン2013		
2014			
2015			
2016	思春期・青年期の患者のための CKD診療ガイド 2016		
2017	腎疾患患者の妊娠診療ガイドライン2017		
2018	CKD診療ガイドライン2018		

# Mission

より多くの医師が、個々の仕事、生活の多様性を尊重しつつ、腎臓学への取り組みを通じて男女共同で支える豊かな医療を推進する。

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第2条)

# GoalとStrategy

- 次世代の腎臓学の担い手を育てるため、増えている女性医師への啓発、広報を行って専門医志望者の増加をうながし、ゆとりある医療、研究の場を作る
- 各部門のリーダーとなる医師を性差なく押上げ、男女共同して 腎臓学の医療・研究・教育の充実をはかる
- あらゆる生活の局面で、腎臓学の高い専門性を維持してキャリアを途絶えさせないシステムを構築する
- 職場環境、家庭環境に応じた参加しやすい学会運営を目指す
- 成長途上の医師が腎臓学と取り組む上での問題に直面した際、孤立を防ぎキャリア継続と向上への意欲をサポートする

# 委員会設立と活動の基本方針

- 学会は学際活動の団体である(アフーマティブアクションを設立当時から必ずしも前面にだしていない)
- 女性医師支援(とくに子育て支援)に特化しない
- 委員会は男女で構成し、職位、勤務先、年代、地域性を考慮する
- 次期委員候補(オブザーバー)から、委員を卒業したアドバイザー)まで、大人数で活動していく
- 目標を立て、できることから取り組んでいく

# 日本腎臓学会の男女共同参画活動のあゆみ

2004	男女共同参画基本法施行(1999)	2000年	日本女性腎臓医の会
	新臨床研修制度スタート(2004)	2004年	女性幹事
2005	日本医師会女性会員懇談会(2004)		
2006	<b>日本腎臓学会 男女共同参画委員会設立(2006)</b>		2006年 ✓ Mission, Goal, Strategyの策定
2007	日本医師会女性医師バンク(2007)		2007年 ✓ 学会での託児所、相談コーナー、 委員会ブースを常設化 ✓ 腎臓専門医制度既定改訂 ✓ 第1回アンケート実施 ✓ 総会で第1回男女共同参画委員会企 画実施
2008			2008年 ✓ 女性理事誕生
2009	CKD診療ガイド2009		2010年
2010	CKD診療ガイドライン2009		✓ 第2回アンケート実施 ✓ 腎臓学への誘い発行
2011			2011年 ✓ 委員および委員長交代
2012	CKD診療ガイド2012		2014年
2013	CKD診療ガイドライン2013		✓ 第2回復職支援プログラムアンケート
2014			2015年 ✓ 腎臓学への誘い改訂
2015	思春期・青年期の患者のための		
2016	CKD診療ガイド 2016		2016年 女性理事2名へ
2017	腎疾患患者の妊娠診療ガイドライン2017		2018年 女性副理事長、女性幹事長
2018	CKD診療ガイドライン2018		

# 専門医の易取得性

4-1. 専門医の資格審査を申請するには、次の条件を満たしていなければならない。

- (1) 本邦の医師免許を有し、医師として人格及び見識を備えていること
- (2) 本会の会員歴が3年以上であること
- (3) 日本内科学会認定内科医取得後3年以上、日本小児科学会専門医、日本外科学会専門医及び日本泌尿器科学会専門医は取得後1年以上であること
- (4) 本会が指定する研修施設において、別に定める研修カリキュラムに基づく研修を3年以上行っていること

\* 週4日以上勤務していることを基準とし、週3日の勤務は3/4の期間として、週2日の勤務は1/2として計算し、合計3年以上の臨床経験があることを証明する施設長、又は教育責任者による研修終了証明書が必要である。

\* 平成16年3月以降卒業医師の初期研修2年は含まない。

\* 海外施設で研修を行った場合は、委員会の議を経て専門医試験受験申請に必要な研修と認めることができる。

# HPの充実

日本腎臓学会は腎臓学研究の進歩と知識の普及、国民への還元を目的としています。

一般社団法人日本腎臓学会 Japanese Society of Nephrology

English 文字サイズ: 中 大

サイト内検索:  検索

ホーム 一般の方へ 学生・研修医向け 医療従事者向け 会員向け

Photo by Prof.Makino

Japanese Society of Nephrology

重要なお知らせ [一覧はこちら](#)

2019.12.09	第63回日本腎臓学会学術総会 一般演題募集ならびに演題登録のお知らせ
2019.12.02	日本腎臓学会誌The Japanese Journal of Nephrology(JJN)冊子体廃止のお知らせ
2019.11.22	第30回臨床研修医のための腎臓セミナー ※参加受付は11月27日(水)からとなっております。[別ウィンドウ]
2019.11.11	御礼: ASN/JSN joint symposium at the ASN
2019.10.15	台風19号による被害を受けられた会員の皆様へお見舞いを申し上げます。
2019.10.15	ASNでのJSN合同セッションのお知らせ
2019.07.25	【注意喚起】日本腎臓学会の名前を騙った不審電話にご注意ください
2019.07.09	[8/21(土)] 第5回腎臓セミナー・Nexus Japan 開催のお知らせ
2019.07.02	[8/31(土)] 第1回腎代替療法定義セミナーのお知らせ [別ウィンドウ]
2019.05.31	[7月7日(日)] DKDに関する公開セミナー開催のお知らせ 盛会のうちに終了いたしました。

▶ お知らせ

▶ 理事長ご挨拶

▶ 日本腎臓学会について

▶ 診療ガイドライン

▶ 転載許諾申請について

▶ 学術情報

▶ 学術集会など

▶ 腎臓専門医

▶ 会員向け

▶ 国際関連の活動報告

▶ 男女共同参画について

▶ サポーター制度



[ホーム](#)

[一般の方へ](#)

[学生・研修医向け](#)

[医療従事者向け](#)

[会員向け](#)



## 男女共同参画について

Participation

[お知らせ](#)

[理事長ご挨拶](#)

[日本腎臓学会について](#)

[診療ガイドライン](#)

[転載許諾申請について](#)

[学術情報](#)

[学術集会など](#)

[腎臓専門医](#)

[会員向け](#)

[国際関連の活動報告](#)

[男女共同参画について](#)

[サポーター制度](#)

[キーパーソン報告](#)

[Journal](#)

[海外留学情報サイト](#)

[腎臓病療養指導士について](#)

[新専門医制度について](#)

[教育・専門医制度委員会](#)

## 男女共同参画について

HOME >> [男女共同参画について](#)

### 男女共同参画委員会とは



日本腎臓学会では、医師の専門性の維持と自己鍛錬、研究の場である学会の立場から、男女共にキャリア支援を行なうことを目的として、平成18年11月に男女共同参画委員会が設立されました。本委員会は、より多くの医師が、男女共同して、臨床、研究および教育に活躍することにより、腎臓学を通して社会における健康の維持とその質の向上を目指すことを使命とします

### 新着情報

2018.11.20 第61回日本腎臓学会学術総会 男女共同参画委員会企画 (2018年6月9日開催)

第48回日本腎臓学会西部学術大会 男女共同参画委員会企画 (2018年9月28日開催)

第48回日本腎臓学会東部学術大会 男女共同参画委員会企画 「腎疾患における性差を考える」 (2018年10月20日開催)

### 男女共同参画について - 男女共同参画委員会メンバー紹介 -

<a href="#">委員長ご挨拶</a>	<a href="#">設立経緯とその歩み</a>	<a href="#">委員会メンバー紹介</a>	<a href="#">活動方針</a>	<a href="#">新着情報一覧</a>
<a href="#">学術集会委員会企画</a>	<a href="#">現場復帰支援</a>	<a href="#">会員アンケート</a>	<a href="#">相談コーナー・展示ブース</a>	<a href="#">託児所について</a>

### 委員会メンバー紹介 (敬称略/五十音順)

#### メンバー



**委員長 内田 啓子**  
東京女子医科大学  
保健管理センター/腎臓内科

委員会設立から13年、委員長も初代武蔵先生から引き継ぎ8年です。次世代にバトンを渡すにあたり今後どのような方向性で進めばよいか模索中です。私を見かけましたらお声掛けいただきご意見頂戴できれば幸いです。



**副委員長 安田 日出夫**  
浜松医科大学 第一内科

男女共同参画委員会は「キャリア支援」、「働き方改革」さらには「医師確保」に繋がるもので、「多様性」に対応できることが求められているように感じています。



**秋岡 祐子**  
埼玉医科大学小児科

小児腎臓病医として地域のこどもの役に立ちたいと診療に動んでいます。ライフコースの過程で働き方を変えることは職業人の必定です。キャリアを継続する意思があればキャリアの重ね方は何通りもあると思います。



**市原 淳弘**  
東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科

約10年の長きにわたり男女共同参画委員会で勉強させていただきました。世間では男女共同参画がダイバーシティに繋がる気運も高まり、時代に合わせた発展と改革の必要性を感じています。

# 腎臓学会の専門医、役員の男女比

- 理事：20人中2名 = 10%
- 幹事：21人中4名 = 19%
- 委員会；644中81名 = 13%  
(委員長は59人中3名 = 5%)

男女共同参画委員会設立

2018年度改選  
副理事長：女性  
幹事長：女性

	総数(人) 2006年	男性(%) 2006年	女性(%) 2006年	女性(%) 2013年	女性(%) 2017年
会員	8168	81.2	18.8	23.3 ↑	26.3 ↑
専門医 (取得率)	2666	86.1 (34.8)	13.9 (24.1)	18.9 ↑ (27.8% ↑)	22.1 ↑
学術評議委員	400	93.4	6.6	8.1 ↑	
CKDガイドライン作成委員の 女性の割合			2.8	3.6 ↑	8.0 ↑
			0	5 ↑	10 ↑

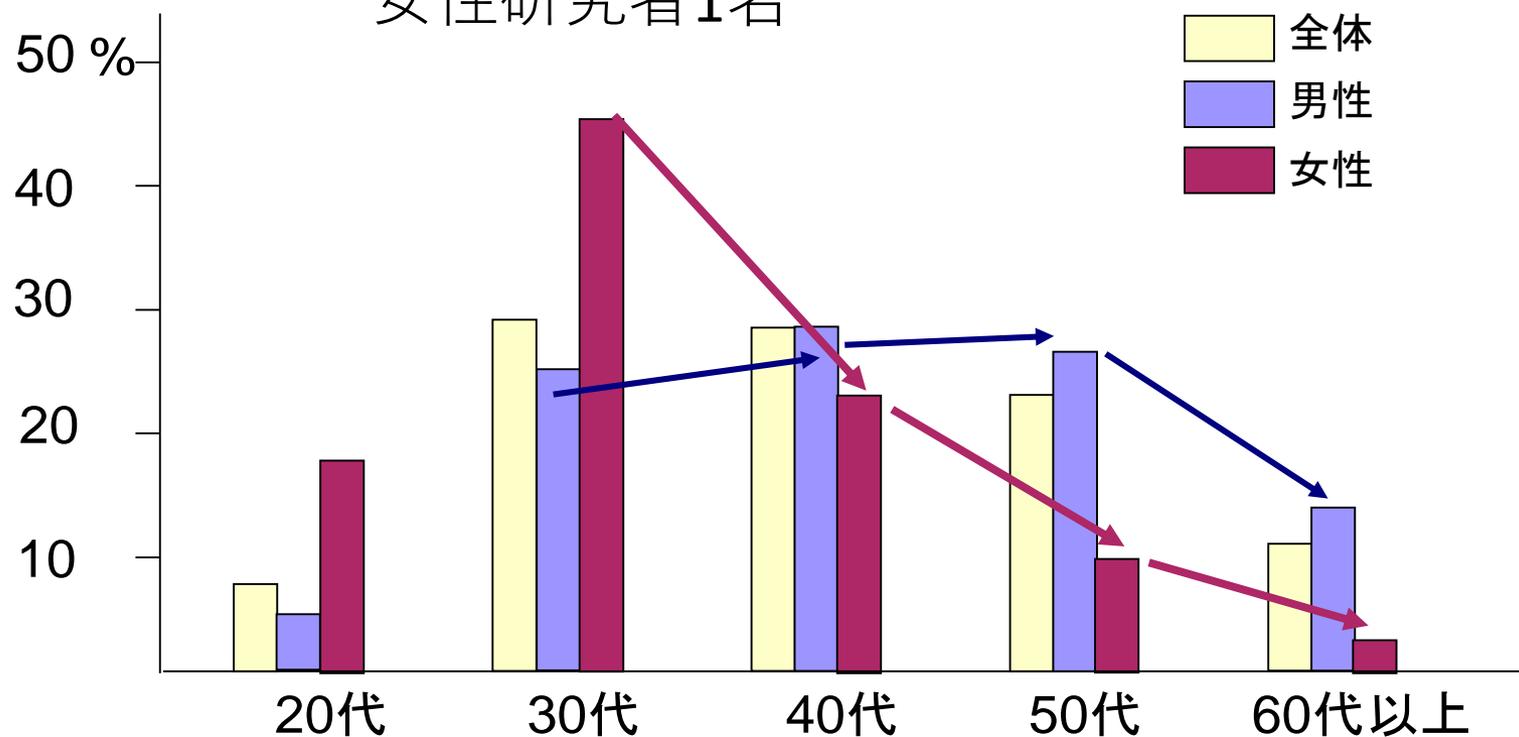
CKDガイドライン作成委員の女性の割合  
2009年 0 % 0 / 79名  
2013年 5.4% 4 / 74名  
2018年 12 % 18 / 150名

8168 → 9679 ↑ → 10373 ↑

# 日本腎臓学会員の年代別分布

2019年度YIA5名中  
女性研究者1名

日本の医師数の分布と同様



# 女性の登用

## リーダーシップ、組織の意思決定

女性リーダーの登用

理事（選挙により選出）

副理事長

幹事長

学術集会あり方委員会委員長

COI委員会委員長

ヨーロッパ腎臓、透析移植学会連携委員会委員長

2023年東部学術大会大会長

倫理委員会 8名中1名

男女共同参画委員会 19名中13名

国内関連学術団体への対応 24枠中1名

# 総会東西大会における委員会企画の常設 ⇒ロールモデルから学ぶ、男性や管理職の理解 を深める

## プログラム例（平成23年度総会）

「大島賞受賞者に

キャリアプランとライフワークバランスを聞く」

1. 腎疾患の治療法開発を目指して

東京医科歯科大学腎臓内科 野田裕美

2. 鋳質コルチコイド受容体活性制御に基づくCKD新規治療法の探索

～私の腎臓研究とワークライフバランス～

東京大学腎臓内分泌内科 長瀬美樹

3. 私のキャリアパスとライフワークバランス

熊本大学腎臓内科 北村健一郎

4. 私の腎臓病研究を振り返って

岡山大学 前島洋平

5. 何を目指し何に情熱を傾けるのか; 若手腎臓内科医へのメッセージ

京都大学 柳田素子





## 第62回日本腎臓学会学術総会

男女共同参画委員会企画プログラム

# 女性が輝く社会をめざして

日時 2019年6月22日(土) 11:00~11:30

会場 第1会場 (名古屋国際会議場 1号館2階 センチュリーホール)

司会 長谷川 みどり (藤田医科大学医学部腎臓内科学)

演者 宮本 悦子 (愛知県副知事)

内田 啓子 (東京女子医科大学保健管理センター)

## 第48回 東部学術大会

司会：内田 啓子

Over view：長瀬美樹 (杏林大学解剖学)

CP-1：疫学・統計学的視点からの捉え方  
松本 知沙 (東京医科大学検診予防医学  
センター循環器内科)

## 第48回 西部学術大会

司会 猪原 登志子 (京都府立医科大学)

チーム移植からTeam Kidneyへ

宮田 仁美 (京都桂病院 腎臓内科)

成人期医療につなげるこどもの慢性腎臓病

秋岡 祐子 (埼玉医科大学小児科)

# 深化する腎臓学 ～科学と実践～

2017.5.26(金)▶28(日)

会場  
仙台国際センター  
東北大学百周年記念会館

総会長  
伊藤 貞嘉 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座腎・高血圧・内分泌学分野 教授

副会長  
佐藤 博 東北大学大学院薬学系研究科臨床薬学分野 教授

事務局長  
宮崎 真理子 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座腎・高血圧・内分泌学分野

日程表 第2日目 5月27日(土)

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
仙台国際センター 第2日目 5月27日(土)	会議棟 2階			シンポジウム7 ミコンドリア・デザイン 司会:阿部 高明, 藤田 泰子	シンポジウム8 臨床研究の立案, 実施, 解析における最近の動向 司会:菅野 義彦, 星野 純一	シンポジウム9 急性腎臓病 司会:高橋 由紀夫, 寺田 典生
				シンポジウム10 高齢期・新生児医学と腎臓病 司会:成田 一英, 阪本 元史		
	会議棟 3階			JSN/KIDQO Joint Symposium 司会:深川 雅史, 塚本 雄介		
	白樺1	8:00-8:30 Meet the Professor Alan W. Crowley, Jr. Alexis Fromy Gert Mayer Hazel H. Sacks Daisuke Inagi, Chanyu 仙台国際センター 仙台国際センター 講義棟小会議室 6, 7		シンポジウム11 司会:藤山 祐仁 0-120-0-124	ネフロ-セロイド群1 司会:高野 友枝 0-125-0-129	
	白樺2			藤野達伸 司会:寺島 博之 0-140-0-144	全尿・尿産 司会:小松田 敬 0-145-0-149	
展示棟 1階			慢性腎臓病 司会:寺田 明仁 0-160-0-164	病態 司会:磯口 明典 0-165-0-169		
会議室1			10:12-11:00 高野・フレイル 司会:豊杉 三美子 0-180-0-185	腎臓病1 司会:澤元 秀穂 0-186-0-189		
会議室2			慢性腎臓病 司会:清水 義保 0-200-0-204	腎性貧血 司会:花房 俊秀 0-205-0-209		
会議室3			慢性腎不全(基礎)1 司会:藤山 成 0-220-0-224	慢性腎不全(基礎)2 司会:花房 俊秀 0-225-0-229		
会議室4			腎臓病4 司会:藤山 成 0-220-0-224	腎臓病5 司会:藤山 成 0-225-0-229		
第12会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール			腎臓病6 司会:藤山 成 0-225-0-229	腎臓病7 司会:藤山 成 0-225-0-229		
展示棟 1階			ポスター会場 展示室2	ポスター受付・展示	ポスター閲覧	ポスター発表



テーマ：「医学と異なる領域での女性の活躍」  
「これからの組織運営に求められるもの  
(組織運営における多様な視点)」  
演者：奥山恵美子 (仙台市長)

# 今後の課題とまとめ

ジェンダー  
ギャップ

社会とのつながり  
を大切に

少子高齢化

男女共同参画推進

一度入会した会員が生涯腎臓学を学び続け  
てもらえるような魅力的な学会に

ダイバーシティ推進

専門医制度

MissionとGoalの再定義

腎臓病の克服へ

解消は道半ば  
ともいえる